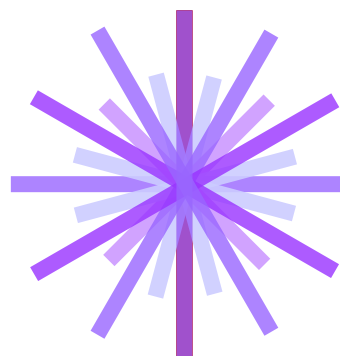


第41回 レーザ安全スクール －ご案内－



LASER SAFETY SCHOOL

■ 期間 レーザ安全スクール受講前講座：2026年 9月18日(金)
講義時間：13:30～17:30 会場：光産業技術振興協会 (東京都新宿区)

第 1 期：2026年10月 5日(月)～10月 9日(金)

第 2 期：2026年12月 7日(月)～12月11日(金)

講義時間：9:40～16:50 会場：機械振興会館 (東京都港区)

主 催 : 一般財団法人光産業技術振興協会
後 援 : 経 済 産 業 省 (予定)

1. 趣旨

一般財団法人光産業技術振興協会は、レーザ機器の普及に伴う機器取扱者の傷害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取扱い講習会」をスタートさせました。以後、名称を「レーザ安全スクール」と改称すると共に、レーザ安全に対する関心の高まりに対応するため内容を一層充実させ、今日まで一貫してレーザ機器取扱者の安全教育に徹してまいりました。おかげさまで、昨年までに延べ30,580名の方々にご参加いただきました。

第41回を迎える本年度の「レーザ安全スクール」は、JIS C 6802:2025「レーザ製品の安全基準」^{*1} および厚生労働省基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅した内容とし、社会の要請に応えるものとしております。

また今年度は、受講者からのご要望に基づき、レーザに関する初歩的な知識を学ぶための「レーザ安全スクール受講前講座」を開講いたします。これにより、レーザ安全の知識をより幅広い層の方々に学んでいただけるようになることを期待いたします。

レーザ機器の運用、及び設計開発、製造、加工等に携わる多くの方々にご参加いただけますようご案内いたします。

*1 JIS C 6802:2025「レーザ製品の安全基準」は2025年8月20日 公示されました。

2. スクールの構成

ご活躍中の専門家を講師に招き、当協会のレーザ関連専門委員会の調査・研究と国内外の最新情報をふまえて、実践的でわかりやすい講義を提供いたします。

- コース概要 テキストは各コース内で完結する内容になっております。

※『[レーザ安全スクール受講前講座](#)』については4ページをご参照ください。

コース名		概 要
S1コース	レーザ工学の基礎理論	レーザ工学の基礎的理論について学ぶ
S2コース	レーザ安全の基礎	JIS C 6802を中心に、レーザ安全基準、安全予防対策、レーザ光の人体への影響等について学ぶ
S3コース	レーザ応用機器の安全	通信・医療用途等のレーザ応用機器の安全性について、考え方と安全対策等を学ぶ
S4コース	レーザ加工機器の安全	各種大出力レーザ加工機の特性と安全対策等について学ぶ
M1コース	レーザ安全管理者	Sコースの内容を前提とし、安全管理・対策、健康管理等について総合的に学ぶ
M2コース	レーザ安全技術者	Sコースの内容を前提とし、レーザ設計、測定等のための技術的事項を学ぶ

・S1～S4コース（レーザ安全の基本）

レーザ安全の基準となる“JIS C 6802”の解説に加え、各種レーザ応用機器の安全対策の基本を学びたい方のためのコース群です。

・M1, M2コース（レーザ安全管理及び安全技術）

レーザ安全の応用コースです。

レーザ機器を使用する現場で安全を管理する立場の方や、レーザ機器の設計製造における安全技術について学びたい方のためのコース群です。

● Sコース、Mコースの受講コース選択例

- ◇ 選択例 1 : レーザ安全（総合） : S1,S2,S3,S4
- ◇ 選択例 2 : レーザ安全（加工機） : S1,S2,S4
- ◇ 選択例 3 : レーザ安全（加工機以外） : S1,S2,S3
- ◇ 選択例 4 : レーザ安全管理 : S1,S2,S3,S4,M1,(M2)
- ◇ 選択例 5 : レーザ安全技術 : S1,S2,S3,S4,(M1),M2
- ◇ 選択例 6 : JIS C 6802の最新の内容を学び直す方 : S2

・コース毎に当協会より修了証を発行します。

※ ただし、遅刻および途中退席の場合には修了証は発行いたしません。

・テキストは、コース毎に用意し、当日朝に配布いたします。

※ テキスト代は参加費に含みます。

● レーザ機器取扱技術者試験の受験をお考えの方への補足

本スクールと上記試験の出題範囲は、概ね以下のように対応しています。

◇ レーザ機器取扱技術者試験 2種

Sコース全般の講義内容のうちの基本的事項

◇ レーザ機器取扱技術者試験 1種選択1（レーザ安全管理者）

Sコース全般、及びM1コースの講義内容

◇ レーザ機器取扱技術者試験 1種選択2（レーザ安全技術者）

Sコース全般、及びM2コースの講義内容

※ 各コースの詳細は本パンフレットの「6. 各コースの詳細」をご参照ください。

●『レーザ安全スクール受講前講座』のご案内

レーザの初心者、または理系ではなく専門的な知識を有しない方々のための講座を開講いたします。本コースの内容とは重複しない横断的な基本事項について、実演やカラーテキストを用いて初歩的な内容、本コースを受講するための基礎的な予備知識をわかりやすく解説します。

● 詳細・お申込み

『レーザ安全スクール受講前講座』の詳細・お申込みは下記ホームページをご参照ください。

(<https://www.oitda.or.jp/school/354.html>)

レーザ安全スクール受講前講座 概要	
対 象	レーザに関する初歩的な知識を学んでおきたい方 (レーザ安全スクール (Sコース・Mコース) と同時お申込みの方を優先)
講義内容	その1 : 「光およびレーザに触れてみよう」 その2 : 「光およびレーザの誕生」 その3 : 「光およびレーザの性質」 講師 橋新 裕一 (元) 近畿大学 IEC TC 76/レーザ安全性標準化部会議長
開講日時	2026年9月18日 (金) 13:30～17:30
場 所	一般財団法人光産業技術振興協会 (〒162-0801 東京都新宿区山吹町346-6 KAGURAZAKA VIGAS 2階)
参加費	一 般 : 27,500円 賛助会員 : 22,000円 (2割引) (消費税 (10%) 込み金額・カラーテキスト代を含む)
※注※	レーザ安全スクール本コース (1期/2期) の会場 (機械振興会館) とは異なりますのでご注意ください。

3. 参加申込方法

●申込方法

当協会ホームページ（<https://oitda.or.jp/school/>）より、受講者ご本人様がお申し込みください。（FAX・電話等でのお申し込みは受け付けておりません）

受付後、参加費請求書および受講票を発行いたします。

●申込締切 ※ コースごとに定員になり次第締切ります。

1期締切：2026年 9月11日（金）（参加費振込締切：9月15日（火））

2期締切：2026年11月18日（水）（参加費振込締切：11月20日（金））

●参加費

- ・1コースあたりの消費税込み金額
- ・テキスト代・昼食費を含む

一般	賛助会員（*注）
33,000円 （消費税額3,000円を含む）	26,400円（2割引） （消費税額2,400円を含む）

（*注）ご自身の所属組織が賛助会員かどうかは、当協会HPでご確認ください。
（<https://oitda.or.jp/about/supporter.html>）

●参加費支払方法

下記の銀行口座にお振込みください。

三井住友銀行 東京公務部（店番号 096）
普通預金 15883
口座名：ザイ）ヒカリサンギョウキ`ジ ヲツシコウキョウカイ
（一般財団法人光産業技術振興協会）

●注意事項

- ・参加費は受講票を受取後、請求書記載の日付までに、必ずお振込みください。
（インボイス対応の適格請求書を発行します）
- ・領収書は発行いたしません。銀行発行の振込明細書等で代えさせていただきます。
- ・参加費の払い戻しはいたしません。お申込み後、申込みの方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。

4. お知らせ

●JISの購入について

- ・本レーザ安全スクールにおける安全に関する講義は、以下に紹介するJISの規定をベースとして構成し、テキスト及び講義の中で参照しています。
- ・講義の受講には必須ではありませんが、レーザ安全を業務の中で実践していくためには、購入されることをお勧めします。
- ・購入を希望される方は、下記の日本規格協会HPからご購入ください。

(<https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0010/>)

JIS番号及び名称

JIS C 6802 :2025 レーザ製品の安全基準（2025年8月20日公示）

JIS C 6803 :2022 レーザ製品の安全
－光ファイバ通信システムの安全－

JIS C 6804 :2022 レーザ製品の安全
－情報伝送のための光無線通信システムの安全－

●レーザ機器取扱技術者試験について

レーザ機器の取扱いに起因する危険及び傷害を防止するため、レーザ機器を取扱い、その取扱いに関する安全管理を担当するレーザ機器取扱技術者について、その業務の遂行に必要な知識の水準を審査するものです。

試験日 2027年1月予定 ※詳細は後日、当協会HPにてお知らせします。

試験項目 レーザ機器取扱いに関する安全管理に必要な基礎および専門知識

レーザ安全スクール・試験 事務局

一般財団法人光産業技術振興協会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町346-6 KAGURAZAKA VIGAS 2階

電話：03-5225-6431 E-Mail：laser_s@oitda.or.jp

5. 日程のご案内

() 内=定員数

会 期 会 場 日 程 コース	1 期					2 期				
	機械振興会館					機械振興会館				
	10/5 (月)	10/6 (火)	10/7 (水)	10/8 (木)	10/9 (金)	12/7 (月)	12/8 (火)	12/9 (水)	12/10 (木)	12/11 (金)
S1コース (レーザ工学の基礎理論)	☆ (80)					☆ (80)				
S2コース (レーザ安全の基礎)		☆ (120)					☆ (120)			
S3コース (レーザ応用機器の安全)			☆ (80)					☆ (80)		
S4コース (レーザ加工機器の安全)				☆ (80)					☆ (80)	
M1コース (レーザ安全管理者)					☆ (70)					
M2コース (レーザ安全技術者)										☆ (80)

6. 各コースの詳細（1）※カリキュラム・講師は変更になる場合があります

S1 コース レーザ工学の基礎理論		1期：2026年10月5日(月)	2期：2026年12月7日(月)
講義時間	テ マ	概 要	講 師
9:40 ～ 11:40 (120分)	光の基礎	表面反射、材料と吸収率、結晶光学、散乱、非線形光学	早稲田大学 理工学術院 研究院 講師 池沢 聡 東京農工大学 大学院工学研究院 教授 岩見 健太郎
12:30 ～ 14:40 (130分)	レーザの基礎	レーザの発振理論、 レーザ装置（CO ₂ レーザ、エキシマレーザ、YAGレーザ、ファイバレーザ、半導体レーザ）	静岡大学 大学院光医学研究科 教授 佐々木 哲朗
14:50 ～ 16:50 (120分)	光共振器とビーム伝搬の基礎	レーザ共振器、レーザ光の周波数特性、 レーザ光のビーム特性、光導波路	慶應義塾大学 理工学部 電気情報工学科 教授 津田 裕之 慶應義塾大学 理工学部 物理学科 専任講師 藤井 瞬
S2 コース レーザ安全の基礎		1期：2026年10月6日(火)	2期：2026年12月8日(火)
講義時間	テ マ	概 要	講 師
9:40 ～ 10:40 (60分)	レーザ光の人体への影響	目の構造と機能、光の波長と眼傷害、光の強さと傷害、レーザによる眼傷害例、皮膚の傷害、健康管理・教育	昭和医科大学 准教授 中西 孝子
10:50 ～ 14:40 (180分)	JIS C 6802「レーザ製品の安全」 目的と背景、 放出レベル別のクラス分け 12:20～13:10 昼食休憩あり	目的と背景、制定・改正の経緯、レーザ安全関連用語、レーザ製品のクラス分けと試験	(元)一般財団法人光産業技術振興協会 IEC TC 76(レーザ機器の安全) エキスパート 村田 健治 (元)近畿大学 IEC TC 76/レーザ安全性標準化部会議長 橋新 裕一
14:50 ～ 16:50 (120分)	製造業者の安全予防対策 (製造上の要件) 使用者の安全予防対策 (使用者への指針)	製造業者の安全予防対策（技術的仕様、ラベル、特定のレーザ製品に対する付加的な要件）、 使用者の安全予防対策（安全予防策、レーザ運転に付随する危険性、危険管理の手順）	株式会社エイチ・ティー・エル 営業本部 マスク事業部 担当部長 渡部 修一

6. 各コースの詳細（2） ※カリキュラム・講師は変更になる場合があります

S3 コース レーザ応用機器の安全

1期：2026年10月7日(水)

2期：2026年12月9日(水)

講義時間	テ マ	概 要	講 師
9:40 ～ 11:10 (90分)	情報機器の安全	POSスキャナの安全設計、 レーザディスプレイの安全設計、 その他の情報機器の安全設計	(元)IEC TC 76(レーザ機器の安全) エキスパート 山崎 行造
11:20 ～ 14:10 (120分)	光ファイバ通信システムの安全 12:20～13:10 昼食休憩あり	光ファイバ通信システム（OFCS）の現状と安全性、 レーザ製品の安全基準、OFCSの安全規格、 本規格における主な改正点	ファイバラボ株式会社 技術営業部 マネージャー 森 邦彦
14:20 ～ 15:20 (60分)	光無線通信（光空間通信） システムの安全	光無線通信システム（FSOCS）の現状、 FSOCSの利用例、安全に対する考え方と安全規格、 FSOCSを使用する際の安全、FSOCの安全設計	コイト電工株式会社 電子技術部 部長 鮫島 彰孝 東洋電機株式会社 R&Dセンター長 服部 倫和
15:30 ～ 16:50 (80分)	医用レーザ機器の安全	医療用レーザ装置、医療用レーザ装置使用時の特徴、 医療用レーザ装置の事故とその原因、 製造業者の安全予防対策、 使用者側の安全予防対策	杏林大学 保健学部 臨床工学科 先端臨床工学研究室 教授 中島 草夫

S4 コース レーザ加工機器の安全

1期：2026年10月8日(木)

2期：2026年12月10日(木)

講義時間	テ マ	概 要	講 師
9:40 ～ 11:40 (120分)	レーザ加工機器の安全	レーザ加工の種類とその基礎、 レーザ加工機器、大出力レーザ機器の安全、 遮へい材料、レーザ被ばく以外の安全対策	長岡技術科学大学 名誉教授 伊藤 義郎
12:30 ～ 13:40 (70分)	紫外レーザ加工機器の安全	紫外線とは、紫外線が及ぼす健康への影響、紫外レーザの 種類と用途、紫外レーザの仕組み、近赤外、可視、紫外域 での安全基準、紫外レーザ加工機設置や保守の時に守るべ き安全措置、安全確保のために	三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 レーザシステム部 レーザソリューション開発グループマネージャ 桂 智毅
13:50 ～ 15:10 (80分)	固体（近赤外） レーザ加工機器の安全	固体（近赤外）レーザ光の特異性、 レーザ発振器の構造と安全装置、 レーザ加工機器と安全装置、加工例、 加工時の安全対策、装置組立調整時の安全対策、 保守点検・修理時の安全対策、周辺機器の安全	古河電気工業株式会社 NSプロジェクトチーム チーム長 富永 敬介 古河電気工業株式会社 NSプロジェクトチーム 課長 太田 健史
15:20 ～ 16:50 (90分)	CO2レーザ加工機器の安全	CO2レーザ光の波長と安全 CO2レーザ発振器・加工機の構造と安全対策、 加工時の安全対策、装置組立調整時の安全対策、 保守点検・修理時の安全対策、周辺機器の安全、 安全管理	三菱電機株式会社 中部支社・産業メカトロニクス部 技術担当部長 齊藤 善夫

6. 各コースの詳細（3） ※カリキュラム・講師は変更になる場合があります

M1 コース レーザ安全管理者 2026年10月9日(金)

講義時間	テ - マ	概 要	講 師
9:40 ～ 10:40 (60分)	レーザ事故防止対策 及び健康管理	レーザ光による眼の事故、レーザ光による皮膚の事故、 健康管理と安全対策	昭和医科大学 准教授 中西 孝子
10:50 ～ 13:30 (110分)	安全規格特論 国内法規及び欧米規格 11:50～12:40 昼食休憩あり	国内レーザ安全法規とJIS 欧米のレーザ安全規格（欧州指令と欧州規格、米国FDA 基準）	(元)一般財団法人光産業技術振興協会 IEC TC 76(レーザ機器の安全) エキスパート 村田 健治
13:40 ～ 14:40 (60分)	安全管理と安全対策特論 “ファイバレーザ加工システム事例と その安全対策”	ファイバレーザについて ファイバレーザ加工システムの安全対策	古河電気工業株式会社 ソーシャルデザイン統括部門 レーザ応用事業部 課長 安岡 知道
14:50 ～ 15:50 (60分)	安全管理と安全対策特論 “固体レーザ加工システムの 具体的安全対策”	紫外線レーザについて、エキシマレーザについて、 レーザ及び付帯設備の安全対策、 エキシマレーザ加工システムの安全対策、 レーザの安全管理事例	TOWALレーザフロン株式会社 システム技術部 部長 福田 健一
16:00 ～ 16:50 (50分)	安全管理と安全対策特論 “紫外レーザ加工システム事例と その安全対策”	紫外レーザ加工システムの安全対策	ギガフoton株式会社 研究開発本部 研究開発業務部 副部長 山田 和則

M2 コース レーザ安全技術者 2026年12月11日(金)

講義時間	テ - マ	概 要	講 師
9:40 ～ 12:00 (140分)	高出力レーザ特論	基礎的な考え方（レーザ光の空間モード、レーザ動作解析、 パルスレーザ動作）、高出力レーザの実際（レーザ媒質、高 出力化へ向けた課題と技術）	電気通信大学 レーザ-新世代研究センター 教授 米田 仁紀
12:50 ～ 14:40 (110分)	設計基礎特論	ビームモードとビーム伝搬、集光特性、実際の伝搬における現 象、材料表面における光の反射と吸収、最大許容露出光の 算出、レーザ安全管理、レーザ応用機器の安全設計指針の 基礎	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 産業オートメーションシステム技 術部 レーザシステムグループ 主席研究員 藤井 俊輔
14:50 ～ 16:50 (120分)	設計特論	設計に必要な技術的仕様、光学部品の設計強度、 ビームハンドリングの設計方法、加工装置におけるレーザ光の 測定、使用者のためのレーザ安全設計、 保護メガネの選定、使用者のための取扱説明書、使用者の 教育・訓練、保守点検および組み立て調整のための安全設 計	芝浦エレクトック株式会社 事業イノベーション統括部 設計グループ マイスター 横田 篤

7. 会場

機械振興会館：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

Map



交通案内

・東京メトロ日比谷線	神谷町駅下車	徒歩 8分
・都営地下鉄三田線	御成門駅下車	徒歩 8分
・都営地下鉄大江戸線	赤羽橋駅下車	徒歩10分
・都営地下鉄浅草線/大江戸線	大門駅下車	徒歩10分
・JR山手線/京浜東北線	浜松町駅下車	徒歩15分



一般財団法人光産業技術振興協会

〒162-0801

東京都新宿区山吹町346-6 KAGURAZAKA VIGAS 2階

電話：03-5225-6431 E-Mail：laser_s@oitda.or.jp